

# 「ジンベエザメとクラゲのなぞ」

霞小学校 4年 三井 華音

今日のめあて ジンベエザメの体ってなんであんなに大きいのか？

ジンベエザメは世界で一番大きな魚です。平均的なサイズは5.5mから10mですが、これまでに12mを超えるのも見つかっています。12mでも十分に大きいですが多量の研究者は12mを超えるものもいると信じています。

ジンベエザメが大きな理由は、冷たい深海でも熱をくわえることができるようにです。ジンベエザメの重要な器は白筋という白い筋肉で囲まれていることが発見されています。ジンベエザメの白筋は、熱を逃がさない働きをしていると科学者は考えました。つまり白筋のおかげでジンベエザメは冷たい深海にいても、体を温かく保つことができているのです。冷たい深海でも活動できるように浅い海でも体を温めたり泳ぎ方を工夫してエネルギーをたくわえたり、そして白筋で熱を逃がさないように

クラゲとジンベエザメの体の作り

今日のふりかえり→がんばり表に書こう

今日のめあて クラゲのなぞ

調べたいこと  
どうめいな理由。光る理由  
な再生と再生力  
どうめいな理由？

クラゲが一般的に半とう明な構造をしているのは、水中を浮遊し、たまたま触手に触れた小動物をさし取して捕食するためえさとなる小動物に識別されにくいほうが有利であると言われています。

生き残るためといった理由もあるそうです。クラゲはいろいろな生き物のえさとして扱われやすいので半透明であることにより見つけにくいとも言われています。

クラゲの水分は95%  
どうしてとう明なのか？  
器はちゃんあるのか？  
なんとクラゲの体のほとんどは、75%が水でできていると言われています。残りは、ゼラチンなどのたんぱく質でできています。

今日のふりかえり→がんばり表に書こう

調べ学習をしました。今度は、ジンベエザメとクラゲ以外の海の生き物も調べてみたいです。